

スプレー缶の取り扱いには注意しましょう！！

近年、スプレー缶が原因の火災や事故が多発しています。ストーブの近くでスプレー缶を噴射して引火し火災になってしまったり、屋内でスプレー缶のガス抜き作業中に火気を使用し、滞留したガスに引火して爆発事故が起こるなど様々な状況下で発生しています。

～スプレー缶には可燃性ガスが含まれている～

スプレー缶にはLPG(液化石油ガス)やDME(ジメチルエーテル)などの非常に引火性の高い可燃性ガスが含まれています。

～取扱い上の注意～

- ・使用前に缶に記載されている注意事項を確認する！
- ・火気の付近で使用しない！
- ・40℃以上になる所には置かない！
- ・火気を使用している室内で大量に使用しない！
- ・使用後の火気の手扱いは十分に注意する！
- ・捨てる際は中身を使い切って捨てる！（缶を振って「チャプチャプ」「シャカシャカ」などの音がすると中身が残っていません。）
- ・使い切れない中身は火気のない風通しの良い屋外で、噴射しなくなるまで出し切って捨てる！（缶に処理方法が記載されている場合はその方法に従ってください）
- ・ごみの出し方については自治体によって異なるので確認しておく！



使用前に注意事項の確認を！！

正しい使い方で安全に使用しましょう！！